

ちょう
調
さ
査
ひょう
票

■ この調査の対象者は、令和7年8月1日現在、県内にお住まいの40～64歳の方
で、主に、ご自身が高齢期になったときの生活意識などをお聞きします。

■ この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することが
難しい場合は、代わりにご家族の方などがご本人の立場に立ってお答えください。

■ ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月17日（月）まで
に無記名のままポストに投函してください。（切手は不要です。）

※ 次のような場合は、ご回答いただく必要はありません。あてはまる番号に○を
つけ、そのまま、ポストに投函してください。（切手は不要です。）

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定を申請中または認定済
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

ここからアンケートが始まります

問0 この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。（あてはまるもの1つに○）

1. あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。（いずれか1つに○）

1. 男
2. 女
3. 回答しない

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。

しょうわ
昭和ねん
年がつ
月生まれ

(満

さい
歳)

問3

あなたが住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

- | | | |
|----------------------|----------------------------|----------|
| 1. 和歌山市 | 2. 海南市 | 3. 橋本市 |
| 4. 有田市 | 5. 御坊市 | |
| 6. 田辺市 (旧田辺市) | 7. 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町) | |
| 8. 新宮市 (旧新宮市) | 9. 新宮市 (旧熊野川町) | |
| 10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町) | 11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町) | |
| 12. 岩出市 | 13. 紀美野町 | |
| 14. かつらぎ町 | 15. 九度山町 | 16. 高野町 |
| 17. 湯浅町 | 18. 広川町 | 19. 有田川町 |
| 20. 美浜町 | 21. 日高町 | 22. 由良町 |
| 23. 印南町 | 24. みなべ町 | 25. 日高川町 |
| 26. 白浜町 | 27. 上富田町 | 28. すさみ町 |
| 29. 那智勝浦町 | 30. 太地町 | 31. 古座川町 |
| 32. 北山村 | 33. 串本町 | |

問4

あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 単身 (ご本人ひとり) | 2. 夫婦のみ (配偶者は65歳以上) |
| 3. 夫婦のみ (配偶者は64歳以下) | 4. 2世代家族 (65歳以上の家族がいる) |
| 5. 2世代家族 (65歳以上の家族はいない) | 6. 3世代家族 |
| 7. 配偶者、親以外の高齢者 (65歳以上) と同居 | 8. その他 () |

問5

あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 会社や団体等の勤め人 (常勤) |
| 3. 会社や団体等の勤め人 (パート、嘱託等) | 4. 会社や団体等の役員 |
| 5. 自営業主、個人事業主 | 6. 短期・不定期のアルバイト等 |
| 7. 内職 | 8. 収入のある仕事はしていない |
| 9. その他 () | |

★高齢期^{こうれいき}※になったときの暮らしのお考え^{かんが}などについておたずねします。

※通常^{つうじょう}、高齢期^{こうれいき}とは 65歳^{さいいじょう}以上のことを指しますが、年齢^{ねんれい}にはこだわらず、ご自身^{じしん}が年^{とし}をとって高齢者^{こうれいしゃ}になったときとお考え^{かんが}ください。

問6 あなたは、ご自身^{じしん}の高齢期^{こうれいき}の生活^{せいかつ}を考えたとき^{かんが}に、特にどのようなこと^{とく}に関心^{かんしん}がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 家族 ^{かぞく} の団らん・交流 ^{ごうりゅう} | 2. 親せきとのつきあい ^{しん} |
| 3. 友人 ^{ゆうじん} 、知人 ^{ちじん} 、近隣 ^{きんりん} とのつきあい | 4. 住まい ^す (建物 ^{たてもの} の維持管理 ^{いじかんり} 、リフォームなど) |
| 5. 健康管理 ^{けんこうかんり} 、健康づくり ^{けんこう} | 6. 防災 ^{ぼうさい} (災害 ^{さいがい} への備え ^{そな} 、避難 ^{ひなん} や連絡 ^{れんらく} の方法 ^{ほうほう} など) |
| 7. 食事 ^{しょくじ} 、飲食 ^{いんしょく} に関すること ^{かん} | 8. 身だしなみ ^み 、おしゃれ ^{おしゃれ} や美容 ^{びよう} に関すること ^{かん} |
| 9. 仕事 ^{しごと} 、働くこと ^{はたら} | 10. 家事 ^{かじ} (炊事 ^{すいじ} 、掃除 ^{そうじ} 、洗濯 ^{せんたく} など家 ^{いえ} の中 ^{なか} の仕事 ^{しごと}) |
| 11. 社会奉仕 ^{しゃかいほうし} 、ボランティア活動 ^{かつどう} | 12. 地域の活動 ^{ちいき} (自治会 ^{かつどう} 、老人クラブ ^{じちかい} など) |
| 13. 趣味 ^{しゅみ} の活動 ^{かつどう} | 14. 学習活動 ^{がくしゅうかつどう} |
| 15. スポーツ活動 ^{かつどう} | 16. 特にない ^{とく} |
| 17. その他 (|) |

問7 あなたは、現在^{げんざい}お住まい^すのところに高齢期^{こうれいき}も住み続けるとした場合^すに、日常^{にちじょう}の買い物^かや外出^{もの}などのしやすさ^{がいしゅつ}についてどのように思^{おも}いますか。(そう思うもの1つに○)

1. 現在^{げんざい}でもかなり不便^{ふべん}であり、高齢^{こうれい}になったらさらに困^{こま}ることになると思^{おも}う
2. 現在^{げんざい}は特に問題^{とく}はないが、高齢^{こうれい}になったら困^{こま}ることになると思^{おも}う
3. 高齢^{こうれい}になっても特に困^{とく}ることはないと思^{おも}う
4. わからない
5. その他 (

問8 あなたは、ご自身^{じしん}の高齢期^{こうれいき}の生活^{せいかつ}を考えたとき^{かんが}に、何か不安^{ふあん}を感じる^{かん}ことなどはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. 家族 ^{かぞく} や親せき ^{しん} との人間関係 ^{にんげんかんけい} | 2. 友人 ^{ゆうじん} や知人 ^{ちじん} 、近所 ^{きんじょ} の人 ^{ひと} との人間関係 ^{にんげんかんけい} |
| 3. 話し相手 ^{はな あいて} がいないこと | 4. 生活費 ^{せいかつひ} など |
| 5. 自分 ^{じぶん} の介護 ^{かいご} のこと | 6. 自分 ^{じぶん} の健康 ^{けんこう} や病気 ^{びょうき} |
| 7. 同居家族 ^{どうきよかぞく} の健康 ^{けんこう} や病気 ^{びょうき} | 8. 家族 ^{かぞく} や親せき ^{しん} に対する介護 ^{たい かいご} |
| 9. 通院 ^{つういん} の介助 ^{かいじょ} や手段 ^{しゅだん} | 10. 掃除 ^{そうじ} や洗濯 ^{せんたく} などの日常生活 ^{にちじょうせいかつ} のこと |
| 11. 食事 ^{しょくじ} の用意 ^{ようい} や配食 ^{はいしょく} などのこと | 12. 財産 ^{ざいさん} の管理 ^{かんり} や遺産 ^{いさん} 相続 ^{そうぞく} など |
| 13. 子 ^こ や孫 ^{まご} の将来 ^{しょうらい} | 14. 特に悩み ^{とく} や不安 ^{ふあん} はない |
| 15. その他 (|) |

けんこう
★健康についておたずねします。

問9 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

1. たいへん健康である
2. 大した病気や障害もなく普通に生活している
3. 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える
4. 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である
5. その他 ()

問10 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日、運動をしている
2. 週に3～5日程度、運動をしている
3. 週に1～2日程度、運動をしている
4. 月に数日程度、運動をしている
5. 運動はほとんどしていない
6. その他 ()

問11 あなたは、健康づくりや介護予防に関して、ご自身の日頃の生活習慣(ロコモ予防※1やメタボ予防※2など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
2. 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
3. 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
4. 特に意識をしていない
5. その他 ()

※1 ロコモ予防：生活不活発病(身体を動かさないことによる運動機能の低下)を予防する取り組み

※2 メタボ予防：生活習慣病を予防する取り組み

こうれいき ざいたく く す か
★高齢期の在宅での暮らし、住み替えなどについておたずねします。

問12 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自動車(自ラ運転) | 2. 自動車(家族等が運転) |
| 3. バス、電車 | 4. タクシー |
| 5. 福祉移送サービス(介護タクシーなど) | 6. バイク、スクーター |
| 7. 自転車(電動アシスト付き自転車を含む) | 8. 徒歩 |
| 9. 車椅子、電動車椅子 | 10. 医療機関による無料送迎(通院時のみ) |
| 11. 外出は困難(寝たきりなど) | 12. その他 () |

問13 あなたは、電車やバスなど公共交通機関(※)を利用するとき、最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。
※コミュニティバスを含みます。

片道 約 分

問14 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 戸建 (持ち家) | 2. 戸建 (賃貸) |
| 3. マンションなどの集合住宅 (持ち家) | 4. マンションなどの集合住宅 (賃貸) |
| 5. その他 () | |

問15 あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

1. 自宅で在宅サービス (ホームヘルプやデイサービスなど) を利用しながら住み続けようと思う
2. 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
3. 介護保険施設 (特別養護老人ホームなど) に入所しようと思う
4. 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
5. その他 ()

※施設名などの用語につきましては、依頼状裏面の補足説明もご参照ください。

問16 もし、介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか(重視する項目3つ以内に○)

1. 今住んでいる場所や頼りになる人 (子ども、親せきなど) の家から近いこと
2. 提供される介護サービスの内容や質がよいこと
3. 利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること
4. 医療機関から近いこと
5. 交通の便や生活の利便性がよいこと
6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること
7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること
8. その他 ()

問17

将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていこうとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り(徘徊の発見、通報など)
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品(オムツ等)の支給
17. 買い物や通院などの外出時の移動支援
18. 財産管理や日常的な金銭管理などの支援
19. その他()

★自宅での看取りの考え方などについておたずねします。

問18

現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療(※)の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

1. とても関心がある
2. ある程度は関心がある
- 3.それほど関心はない
4. 今はわからない

※ここでいう「延命治療」は、治る見込みがなく死期が迫っている方に対し、人工呼吸器や中心静脈栄養、胃ろうなどを生命の維持のためのみに行うものを指します(問21も同様)。

問19

あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

1. ある
2. ない

問20 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくこと(リビング・ウィル)について、どう思いますか。
(最も近いもの1つに○)

1. 賛成である 2. 反対である 3. わからない

問21 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

1. 望む 2. 望まない 3. 今はわからない

問22 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思いますか。(最も近いもの1つに○)

1. 病院で最後までできるだけ治療を受けたい
2. 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい
3. 住み慣れた自宅で過ごしたい
4. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなどで過ごしたい
5. どこでもよい
6. 今はわからない
7. その他 ()

問23 もしも、あなたの親に死期が迫っており、本人の意思確認が難しい状態になったとしたら、あなたはどのように看取りたいと思いますか。(最も近いもの1つに○)

1. 病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けさせたい
2. 延命治療は望まないが、病院でできる限りの治療を受けさせたい
3. 延命治療は望まないが、設備の整った介護保険施設などで過ごさせたい
4. 延命治療はせず、本人の自宅等住み慣れた場所で過ごさせたい
5. すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい
6. 今はわからない
7. すでに親は亡くなっている
8. その他 ()
- **問25** へ
- **問25** へ

問24 前の問で「5. すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい」と答えた方におたずねします。それはどのような意思ですか。(最も近いもの1つに○)

1. 病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けたい
2. 延命治療は受けたくないが、病院でできる限りの治療を受けたい
3. 延命治療は受けたくないが、設備の整った介護保険施設などへ入所したい
4. 延命治療は受けたくないし、最期は住み慣れた自宅等で過ごしたい
5. その他 ()

★家族介護の状況などについておたずねします。

問25 あなたのご家族(別居の場合を含みます)で、介護が必要な方(要支援・要介護の認定を受けている方)はおられますか。(いずれか1つに○)

1. いる

2. いない → 問27へ

問26 前の問で「1. いる」と答えた方におたずねします。

(1) あなた自身は、その方の介護にどのように関わっていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 主に自分が介護している

2. 他の家族が介護しているのを手伝っている

3. それほど介護には関わっていない

(2) ご家族の中で、その方の介護のために仕事を辞めたり転職された方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分が仕事を辞めた/転職した

2. 自分以外の家族で、仕事を辞めた/転職した者がいる

3. いない

(3) 介護で困っていること、感じることなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護の方法、認知症への対応方法などがわからない

2. 本人の希望に沿った介護ができているかわからない

3. 身体的な負担が大きい

4. 精神的な負担が大きい

5. 経済的な負担が大きい

6. 本人にやさしく接することができない、ついつらくあたってしまうことがある

7. 介護を手伝ってくれる人がいない

8. もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがない

9. もっと介護サービスを活用したいが、利用したいサービスが少ない

10. 施設入所を希望しているが、待機者が多くて利用できない

11. 介護に時間をとられ、他の生活に支障がある

12. 相談先がない

13. 特にない

14. その他 ()

★高齢者の生活支援や介護の仕事に関する考え方などについておたずねします。

問27 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

事業の例：高齢者が気軽に参加できる地域サロンや運動・介護予防教室などの運営、安否確認などのサービス、外出支援、買い物、調理、掃除などの簡単な家事支援など

※現在、同様なサービスの運営に参加している人も意向をお答えください。

1. ある 2. 現在はないが、リタイア後の参加には興味がある 3. ない → 問29へ

問28 前の問で「1. ある」「2. 現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」と答えた方におたずねします。参加する際には、どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい
2. 給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい(短時間のパート・アルバイト含む)
3. 事業の立ち上げや運営などにも関わってみたい
4. その他 ()

★介護保険制度などについておたずねします。

問29 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービスを受けるための手続き
2. 受けられるサービスの内容
3. 気軽に相談できる窓口
4. 保険料、利用料や算出の仕組み
5. 介護事業所の評判
6. 特にない
7. その他 ()

問30 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実すべき
2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くすべき
5. その他 ()

問31 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 名前も聞いたことがない

※1「福祉サービス利用援助」は、判断能力が十分でない高齢者等の権利をまもるため、県・市町村社会福祉協議会等との協働により、福祉サービスの利用や日常生活上の手続きに関する援助、日常の金銭管理や書類などの預かりサービス等を行うものです。

※2「成年後見制度」は、判断能力が十分でない高齢者等（認知症高齢者等）を保護するため、本人の代わりに法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選定する制度です。

★認知症についておたずねします。

問32 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の高齢者とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症で介護を受けている同居の家族がいる
2. 認知症で介護を受けている別居の家族がいる
3. 認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる
4. 近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる
5. 認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある
6. 仕事などの関係で認知症の人と接したことがある
7. 特にいない
8. その他 ()

問33 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実
2. 認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実
3. 外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実
4. 認知症に詳しいケア人材の育成
5. 専門家による相談や情報提供体制の充実
6. 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実
7. 家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実
8. 財産管理や財産を守る（悪徳商法被害の防止等）ための支援の充実
9. 認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実
10. その他 ()

問34 じゃくねんせいになちしやう き じゃくねんせいになちしやう さいみ まん はつしやう になちしやう
若年性認知症についてお聞きます。あなたは、「若年性認知症」(65歳未満で発症した認知症のこ
と)という言葉をご存知でしたか。(いずれか1つに○)

1. 知っている 2. 知らない → **問36へ**

問35 まえ とい し こた かた
前の問で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。

(1) あなたの身の回りで、若年性認知症で介護を受けている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 同居の家族 | 2. 別居の家族 |
| 3. 親せきや友人・知人 | 4. 近所付き合いのある先 |
| 5. 職場の同僚など(退職者も含む) | 6. 仕事などの関係で接したことがある人 |
| 7. 自分自身、診断を受けたことがある | 8. 特にいない |

(2) じゃくねんせいになちしやう げんえき せ だい になちしやう はつしやう ほんにん し ごと ししやう しょう けいざいてき こんなん
若年性認知症は、現役世代で認知症を発症するため、本人の仕事に支障が生じて経済的に困難な
じやうきやう か ぞく えいきやう おお こうれいしや ひと てき すく こうれいしや
状況になる、家族への影響が大きい、高齢者でない人に適したサービスが少ないなど、高齢者の
になちしやう こと もんだい じゃくねんせいになちしやう ひと し えん ひつやう
認知症とは異なるいろいろな問題があります。あなたは、若年性認知症の人に、どのような支援が必要
だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. じゃくねんせいになちしやう ひと か ぞく きが る つど ごうりゆう ばしよ
若年性認知症の人や家族などが気軽に集い、交流できる場所づくり
2. じゃくねんせいになちしやう とつ か りやう かいご など じゅうじつ
若年性認知症に特化するなど利用しやすい介護サービス等の充実
3. じゃくねんせいになちしやう かくしゆ し えん そうだんまどぐち かん じやうほうていきやうたいせい じゅうじつ
若年性認知症の各種支援、相談窓口などに関する情報提供体制の充実
4. じゃくねんせいになちしやう そう きしんだん そうだん おこな いりやうき かん じゅうじつ
若年性認知症の早期診断や相談などを行うことのできる医療機関の充実
5. じゃくねんせいになちしやう ひと し ごと つづ し えん じゅうじつ じ たん きん む ざいたくきん む など
若年性認知症の人が仕事を続けることができるための支援の充実(時短勤務や在宅勤務等
の促進、症 状 に合わせた就 労 支援等)
6. じゃくねんせいになちしやう ひと たい けいざいてき し えん じゅうじつ
若年性認知症の人に対する経済的支援の充実
7. その他 ()

問36 になちしやう かん そうだんまどぐち し
認知症に関する相談窓口を知っていますか。(いずれか1つに○)

1. はい 2. いいえ

問37 高齢者の生活支援(見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など)、介護保険制度(介護保険料、要介護認定、介護保険サービスなど)、保健福祉サービス(介護予防教室、家族介護者教室など)などについて、ご意見がございましたら、自由に記入ください。

こうれいしゃ　せいかつしえん　みまも　がいしゅつしえん　か　もの　ちょうり　そうじ　か　じしえん　かいごほけんせいど
高齢者の生活支援（見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など）、介護保険制度
かいごほけんにょう　ようかいごにんてい　かいごほけん　ほけんふくし　かいごよぼうきょうしつ　かぞく
（介護保険料、要介護認定、介護保険サービスなど）、保健福祉サービス（介護予防教室、家族
かいごしやきょうしつ　いけん　じゆう　きにゆう
介護者教室など）などについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

★質問は以上です。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

★^{きにゅう}記入もれがないか^{たし}お確かめください。

★記入した調査票は、折りたたんで返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。（切手は不要です。）



 「プレゼント」をご希望される方は、ご連絡先として「メールアドレス」を
ご記載ください。

※ プレゼントの発送時期は令和7年12月上旬頃を予定しており、当選の発表は、調査委託先（和歌山社会経済研究所）より電子メールにてお知らせします。その際、プレゼント送付先のご住所・お名前を確認させていただきます。

(メールアドレス)

@

※ 迷惑メール対策などで受信制限をされている方は、事前に info@wsk.or.jp からのメールを受信できるように、受信許可（ドメイン指定受信・受信リスト登録等）の設定をお願いします。